対象年度	令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	文化施設管理運営事業（アクロス）					予算事業名	市民文化センター管理運営経費
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分
			10	05	07	0502	経常経費
総合計画体系	4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文)					事業の区分	主要事業
	4-4個性豊かな芸術文化の創造(芸術・文化)					担当課係等	生涯学習課
	①芸術文化を楽しむ機会の充実						文化係
事業期間	1文化施設の整備・管理・運営						
事業期間	継続（平成3年度～令和3年度）						
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】				【事業開始のきっかけや他市の状況など】			
市民の文化創作活動の拠点として、利用しやすい環境を維持し、利用件数や利用者を増加することで、本市の文化振興の発展を目指す。また、開館より29年が経過したため、老朽化した部分について計画的な改修及び施設機器の更新を行い、安全性と施設機能維持を図る。				市民文化センターの開館（H3年度）に伴い、事業化が図られた。			
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】				【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】			
<ul style="list-style-type: none"> ○指定管理制度を導入し、指定管理者へ施設の管理運営を委託する。 ・令和2年度に、令和3年度～8年度の5年間の指定管理者を選定する。 ○設備備品や什器類の更新（購入）を行う。 ○老朽化した施設や設備の改修工事の実施し、機能強化を図る。 				<ul style="list-style-type: none"> ・市民文化センター「アクロス」 ・施設利用者（市民含む） 			
【令和3年度 事業内容】				【令和4年度 事業内容】			
<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者に施設の管理運営を委託 ・備品の購入 ・施設や設備の修繕・改修 				<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者に施設の管理運営を委託 ・備品の購入 ・施設や設備の修繕・改修 			
【令和5年度 事業内容】							
<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者に施設の管理運営を委託 ・備品の購入 ・施設や設備の修繕・改修 							

■事業費

		R01年度	R02年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	7,000			
	その他	0	0			
	一般財源	74,974	80,566			
歳入計（千円）		74,974	87,566			
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）			
	07 報償費	0	24			
	10 需用費	2,229	1,000			
	11 役務費	120	122			
	12 委託料	70,454	76,070			
	14 工事請負費	1,566	9,350			
	17 備品購入費	605	1,000			
歳出計（千円）（A）		74,974	87,566			
伸び率（％）			16.79			
備考	総合計画125ページ 予算書185ページ					

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動指標	施設・設備の改修件数	件	目標	1.00	4.00	3.00
			実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	利用者数	人	目標	190,000.00	180,000.00	180,000.00
			実績	97,353.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市の文化創作活動の拠点として本施設を維持管理していく必要性は高いが、開館後29年が経過し老朽化が著しいため、市民が安全に利用するために改修は急務である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市の事業団が連携を図ることによって、市民の文化活動の拠点として、安全かつ快適な利用が維持されている。
	手段の妥当性	A 妥当である	施設の管理運営には専門知識が必要なうえ、経費削減を図るためにも、指定管理者制度の導入は妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	一定の事業収入は見込めるが、施設の老朽化に伴い、今後、多額の改修費を要することから、コスト効率は低い
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	数多くの市民が利用しており、広く便益を提供している。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	多くの一流アーティストが公演を行うなど、市民に質の高い芸術文化を提供しており、文化振興の拠点として、本市のみならず、周辺地域に対しても果たす役割は大きい。
進捗度	事業の進捗	B どちらも言えない	施設の管理運営は概ね目標水準に達しているが、改修事業については、毎年行っているものの、十分な進捗とは言えない。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
施設の運営は良好と言えるが、施設の老朽化が著しく年々改修が増える一方で財政面での課題が大きく、現時点で、令和3年度以降に必要な施設の修繕・更新に係る費用の見込額は約17億円である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
施設や設備の改修については、安全性、緊急性や耐用年数を考慮し優先順位を付けて実施するとともに、今後、どのような水準で維持管理していくのか、施設の在り方についても検討していく。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p> ☒ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 </p> <p>方向性の具体的内容 アクロスは開館後30年が経過し、施設や設備の老朽化が進むとともに、現在の法令に適合していない設備も存在している。そのため、毎年、計画的な改修を実施しているが、一定の期間に多額の費用を投じて、集中的に大規模改修を行うことも必要である。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p> ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 </p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。</p>